

平成24年度老人保健事業推進費等補助事業実施計画(概要)

事業名

認知症者の生活支援実態調査と支援方策の開発に関する臨床研究事業

事業実施目的

認知症高齢者の食行動に関連した障害に対して蓄積した基礎データに基づき支援方策を開発し、実態および介入調査によって支援方策の妥当性の検証を行う。

事業実施予定期間

平成24年7月6日 から 平成25年3月31日 まで

事業内容

これまで蓄積した3000人以上の地域在住の認知症高齢者の食行動関連障害に関する基礎的なデータとその追跡調査の結果を基に認知症の主な原因疾患別に、進行度(ステージ)ごとに出現する食行動関連障害の種類や特徴に応じた適切な支援方策試案を作成する、認知症高齢者を対象に作成した方策案を用いた介入調査を行い妥当性の検証を行う。

事業の効果及び活用方法

- 本事業で考案した支援方策案検証の結果から、認知症高齢者に対する、より精度の高い支援方法の提示が可能となる。
- 認知症の進行、認知症の原因疾患別などにより生じる、認知症高齢者の食行動障害の類型化が可能となる。
- 予知性を持った支援方法提供の提言により、ケア負担の軽減が可能となる。
- 効果的に認知症高齢者の食行動支援を行うためのケアマネジメントの体制整備、人員配置さらに研修方法についての提言が可能となる。

認知症高齢者の食行動関連障害に関する蓄積データ(3000人)とその追跡調査を行い、障害の種類、頻度の経時的変化および食事介助等の支援方法との関係性を抽出し、検討する

認知症の主な原因疾患別に、進行度ごとに出現する食行動関連障害の種類や特徴に応じた適切な支援方策試案を作成

軽度認知機能低下者を含む認知症患者の摂食・嚥下障害の実態把握

認知症高齢者の食行動関連障害に対する支援方策案に基づいた介護職員への研修および指導的介入

効果検証

1
食行動障害の類型化

2
食支援方法の確立

3
食に関するケアマネジメントの体制整備

4
食支援に関する研修マニュアルの作成

認知症高齢者の食行動に関連した障害に対する支援方策の確立と普及